

# 歴史的価値ある延岡城



延岡城跡の本丸北面にそびえ立つ高さ約19mの高石垣（通称・千人殺しの石垣）



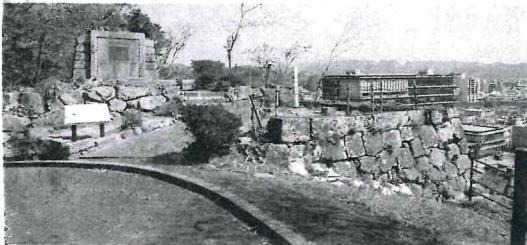
臨門檣跡

# 日本城郭協会理事

# 日本城郭協会理事長が講演

延岡城の築城本日一千〇〇〇石を差定して居たと記した講演会から月23日、延岡市役所講堂で開かれた選定団体の公表式で、日本一の本城郡協会の理事長で、静岡大学名誉教授の小和田重蔵さんが、「延岡城の歴史的価値、統一一千〇〇〇石城の選定にあつた」と題し、延岡城の魅力や城の梁しな方法を分かりやすく話した。

の石垣九州で12位の高さ



が進んでいる。



復元された延岡城北大手門。周辺の石垣の刻印も見

統いたが、近津は石垣だけの城なども注目され、見る方が変化していく。姫路城や熊本城には集まるが、むしろ元地元の人が地域の帆船城郭の価値を知り、後世に伝えてくれる「われじ」と語った。

また、歴代の延岡藩主にても、これが最も高権的で、藩政的、統治的、調査的、この地を城地に選定した功績は大きいが、それを世襲地としきりつ抜きつして有る馬三浦、牧崎、内崎といふ大名が領だした後藤源義通といふ人間が、それでなく」と云ふ。最後端の男爵をも含め、しみがたいで「天下の

橋元龍が延喜に入封する。延喜城の築城のつまらない所を述べ、「『中正記』と城のつまらぬ所を説いて、その樂しみ方を教へし」とある。延喜城の天守の御殿を乗せたてられたのである。



本場の文化



卷之三